

売れる製品 レイトの背景

—45—

世の中に産業用の換気装置は数多あるが、水の気化熱を利用したものと換気装置最大手の鎌倉製



出力0.75kW(ファン径60cm)~2.2kW(同91.4cm)の全5機種。防暑対策に加え、設備の冷却や加湿に利用するユーザーも3割ほどいるという

鎌倉製作所

気化放熱式涼風装置「クールルーファン」

作所(東京都港区、0334034311)

の気化放熱式涼風装置

「クールルーファン」

だ。発売した02年に43

台に過ぎなかった販売台

数は、年々倍増。05年には

約400台と、3年間で

02月発効)や改正省エネ

法(06年4月施行)などの

環境施策によって工場関

係者の間で温暖化防止意

識が高まったことが背景

にある。

クールルーファンは

エアコンのように室内を

ので、一般的なエアコン

に比べるとイニシャルコ

ストとランニングコスト

はともに約4分の1。C

OP(エネルギー消費効

率は実に17.8と同6

倍近い値という。

機械設備から多量の熱

産業施設の防暑対策

COPはエアコンの6倍

10倍近く伸びた。「主力機でもこれほどの成長性は珍しい」(同社マーケティング室の熊切勝夫室長)と話すほどの勢いだ。

ニッチ商品であることに加え、京都議定書(05年

たないシンプルな構造な

が発生する産業施設は気密性がそれほど高くない、エアコンを使ったのでは非効率。しかもそれほど規模の大きくない町工場でも体積にするとかなり大きい。そのため産

外気を常時水で濡らしたエレメントを通過させることで、涼風に変えて屋内に取り込む。特別なフィルターを付けなくてもごみは水と一緒に洗い流されるため、

業用の涼風装置には大きな風量が求められるわけだが、換気装置メーカーである同社はそれを優にクリア。主力



空気もきれいに

きれいな空気を供給できる。また、積極的に給気することで室内の気圧を常に高く保ち、外気の侵入を防止。虫や埃が入りにくい環境をつくる。

室内を冷やすだけでなく、天井からダクトを通して製品を冷やしたり、コージェネレーション(熱電併給システム)などの設備を冷やしたりして生産・運転効率を高めるユーザーも増えている。加湿効果もあるため、印刷工場では静電気を抑えるという「想定外の付加機能」もあった。

次回は、育良精機製作所の「ライトボアラー」を予定。